

2021年11月18日
株式会社 YE DIGITAL

スマートバス停が「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2021」において総務大臣賞を受賞

～ 社会業界特化系 ASP・SaaS 部門、データ活用系 ASP・SaaS 部門、AI 部門、IoT 部門の4部門で受賞 ～

DXによる新たな社会づくりを推進している株式会社 YE DIGITAL（本社：北九州市小倉北区、代表取締役社長：遠藤直人、以下、YE DIGITAL）が提供するスマートバス停クラウド「MMsmartBusStop」がこの度、「第15回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2021」において、最優秀賞である総務大臣賞を受賞しました。当社は同アワードにおいて、4部門で各賞を受賞いたしました。



■「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2021」について

ASPIC はクラウドサービスの黎明期である 1999 年に、業界唯一の団体として創立以来 20 年以上に渡り、クラウドサービスを社会のインフラとして定着させ、日本の産業競争力を向上させる活動を行っている一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会様の略称です。

ASPIC IoT・AI・クラウドアワードはクラウドサービスが社会情報基盤として発展・確立することの一助になることを目的に毎年開催されており、今年で 15 回目となります。日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウドサービスに対し、総務大臣賞、各部門総合グランプリ、他各賞が授与されます。

YE DIGITAL が創業以来約 40 年間で培ってきた IoT・AI・エンジニアリング技術を統合し、お客様の課題解決のために提供しているサービスをご評価いただき、応募したすべてのサービスで下記のとおり受賞いたしました。

**■スマートバス停、スマートバス停クラウド「MMsmartBusStop」
：総務大臣賞および「社会業界特化系 ASP・SaaS 部門」総合グランプリ受賞**

<https://www.ye-digital.com/jp/product/iotm2m/mmsmartbusstop/>

< サービス概要 >

バス事業者様のダイヤ改正時の時刻表張替え作業の負担軽減のために開発。時刻表や各種情報の遠隔配信が可能、スマートバス停運用のトータルシステムとして運行管理を実現します。ダイヤ改正作業を削減、タイムリーな情報伝達で次世代の交通インフラとして地域貢献を果たします。

■IoT プラットフォーム「MMCloud」：「IoT 部門」総合グランプリ受賞

<https://www.ye-digital.com/jp/product/iotm2m/mmcloud/>

< サービス概要 >

「見える化」から始める IoT をキーワードに、様々なデバイスやセンサなどからデータを収集・蓄積し、情報管理・分析等が行える IoT プラットフォーム。「MMCloud」にデータ収集することで、監視対象装置の稼働状態監視や状況分析、アラーム通知などを効率的に行うことができるほか、監視対象装置にリモート接続で作業を行えることから、ダウンタイムを短縮し、生産性向上に寄与いたします。

■AI を使用した画像判定サービス「MMEye」：「AI 部門」環境貢献賞受賞

<https://www.ye-digital.com/jp/product/ai/mmeye/>

< サービス概要 >

ルールベースの画像判定では対応ができなかった、判定基準が“あいまい”な判定の自動化が得意な AI 画像判定サービス。従来、自動化が困難であった食品製造現場の目視検査工程において活用されており、製造ラインの省人化や検査品質の安定化に貢献いたします。

■燃料タンク残量管理・配送効率化ソリューション：「データ活用系 ASP・SaaS 部門」審査委員会賞受賞

<https://www.ye-digital.com/jp/lp/oil.php>

< サービス概要 >

燃料タンク残量を検知する IoT 機器とクラウドシステムを活用し、データの一括管理、配送業務の効率化を行うソリューション。残量データを元に AI で最適な配送ルートを導出するため、配送効率化に大きく貢献いたします。

※ 記載されている会社名、商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 YE DIGITAL マーケティング本部広報部

電話：(093)522-6563 メール：press@ye-digital.com